

平成30年度

科目名	美学	対象 単位数 必選	短期大学部 生活芸術科 2年 2単位 必修/短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択
担当教員	斎藤 美保子		
開講期	Ⅲ		
授業概要	日本の美学と西洋の美学 前半は詩歌を中心に日本の美学を、後半は美術を中心に西洋の美学を辿ります。		
達成目標	①各作品から時代によって異なる美学を読み解く力を身につける ②日本と西洋の美学の違いを感じ取る知識と感性を磨く		
受講資格	文化学科2年生	成績評価 方法	授業内で示す課題 (50%)、論述式の期末試験 (50%)
教科書	特に定めない		
参考書	中井正一著『美学入門』朝日選書32、高階秀爾著『絵画を見る眼』（中公新書）、その他授業内で指示する。		
学生への要望	授業内で指示する文献を良く読み、紹介する美術館や展示を積極的に鑑賞すること。		
オフィスタイム	月Ⅴ、水Ⅴ		
自学自習	授業で扱う作品について、参考書等を精読する。休みの日には授業内で紹介する美術館や美術展を訪ね、作品を鑑賞する。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	さやけさ	神社建築と『万葉集』（759年以降成立）の歌から、古代人の美楽を探る。
2	もののあわれ	『古今和歌集』（905年成立）の歌と『源氏物語』（1006年）から、平安時代の美学を探る。
3	無常観	仏教美術と『新古今和歌集』（1205年）の歌から、中世の美学を探る。
4	幽玄、わび	室町時代の諸芸と詩歌から、現代に続く日本的な美学の成立を理解する。
5	さび、軽み	桃山美術と松尾芭蕉の俳句から、江戸前期の美学を探る。
6	粋	浮世絵と幕末の俳句から、江戸後期の美学を探る。日本の美学に通底するものをまとめる。
7	古代ギリシア (BC5C.)	パルテノン神殿周辺の美術から、西洋の古典的美学を理解する。
8	ロマネスク・ゴシック (10～)	世界遺産となっている教会、修道院等の美術から、西洋中世後期の美学を理解する。
9	ルネサンス (15・16世紀)	レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、ラファエロの諸作からルネサンスの美学を理解する。
10	バロック (17世紀)	ルーベンス、レンブラント、フェルメールの絵画から、バロックの美学を理解する。
11	ロココ (18世紀)	ブーシェ、ヴィジェ・ルブランの絵画から、ロココの美学を理解する。
12	新古典主義 (19世紀初め)	ダヴィッド、アングルの絵画から、新古典主義の美学を理解する。
13	ロマン主義 (19世紀前半)	ターナー (1775～1851)、ドラクロワ (1798～1863) 等の絵画から、ロマン主義の美学を理解する。
14	写実主義・印象主義	ミレー、モネ、ゴッホ (1853～90) の絵画から、19世紀後半の美学を理解する。
15	アール・ヌーヴォー様式	ガウディ (1852～1926) とミュシャ等の諸作から、19世紀末の美学を理解する。

科目名	民俗学Ⅱ	対象 単位数 必選	短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択
担当教員	野沢 謙治		
開講期	Ⅲ		
授業概要	岩手県遠野地方の伝説、昔話、祭りなどをリアルに記した柳田国男の『遠野物語』を読みながら神話的思考にふれることとする。神話的思考とは現実のもの考え方にとらわれず文化の古層を明らかにすることである。『遠野物語』の不可思議な物語は原古の心意に遡り、しかも絶えず時代を越えてくりかえしあらわれる心性でもある。それはまた東北の古い文化の古層に我々を誘います。		
達成目標	『遠野物語』が我々の心性に訴えかけてくるのは神秘、恐れ、不安、喜びという感情と共感するだけではなく歴史や文化のヴェールをはぎとった時にあらわれる歴史の古層であり、自然で自由で創造的な原古性である。歴史や文化が創られるまえの心性にふれることができる。		
受講資格	文化学科2年	成績評価 方法	『遠野物語』をヒントに不可思議な物語を創造してもらいレポートとして提出してもらおう。100点満点とする。
教科書	『新版 遠野物語』（角川ソフィア文庫）教科書販売所で購入してください。		
参考書	必要に応じ指示します。		
学生への要望	あらかじめ教科書をよく読み、物語の不可思議さはどこからきているのかを自分なりに考えて授業に臨んで下さい。		
オフィスタイム	金曜日Ⅱコマ目 創学館4階No.5研究室 予約はいりません。いつでも来てください。		
自学自習	『遠野物語』をよく読んでおくこと。文体が慣れないかもしれないのでくりかえし読んでおくこと。物語の解説に不明なところがあったらまとめておき質問すること。		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	遠野物語の誕生	『遠野物語』は遠野出身の文学者佐々木喜善の話を柳田国男がそのまま書き記したものとされています。しかし、文章は洗練され文学的香りがします。しかし、そこには当時の文学の影響はありません。重要なことは不可思議な物語への柳田国男の神秘的共感であり、文化の異質性への関心でした。
2	遠野の神話	『遠野物語』の第1話と2話は遠野のはじまりの物語であり、神話にあたります。その中の鮭の物語はもしかすると縄文時代まで遡れる可能性があります。神のはじまりの物語は山と山神であり、これも縄文の世界と関係するかもしれません。
3	山人の伝承	遠野の山々には山人が住んでいました。柳田国男は山人を先住民族と想定しますが、この想定は後に破綻します。むしろ山人は里人の幻想と山の異界性に関係するかもしれません。
4	山神の伝承	遠野の山神は恐ろしい神であり、山神との遭遇は不幸な結果をもたらしました。このような山神は里の神や稲の神ではなく、おそらくそれ以前の狩猟民の神であり、それは山神信仰の原型と考えられます。
5	狼の伝承	遠野では狼は暮らしのすぐそばにいました。しかも狼は暮らしの中に絶えず侵入し人々に害をあたえてきました。しかし、その関係は緊張をはらみながらも畏怖の感覚をふくむ共生の関係でもありました。
6	河童の伝承	遠野の河童には畏怖の感覚は残っていますが、不倫の秘密を隠すために利用されたり、見世物としての河童になっています。この背景には遠野が経済的価値に重きを置く社会に変っていたことを示すものかもしれません。
7	ザシキワラシの伝承	ザシキワラシは家の幸、不幸と密接に関わっていました。ザシキワラシの住む奥ザシキは異界につながっていました。しかもその異界は水界でした。異界としての水界の霊異が具体化する時、必ず子ども、ワラシの姿をとるのです。
8	オシラサマ	オシラサマは本来、神がよりつく木の棒に由来するといわれます。そこに馬と娘が結婚する馬娘婚姻譚が結びつき、木の棒に馬や人の顔が彫られることになりました。さらに馬娘婚姻譚は養蚕の起源ともかわりませんが、古く遡りますと馬の供犠も関係していたようです。
9	コンセサマ	コンセサマは縁結び、子授け、安産など結婚や生殖にかかわる神であり、神体は男根、つまり性神です。しかもコンセサマの性は男女の性的結合によるのではなく狩猟民の男根崇拜に関係していたようです。
10	水の伝承	遠野盆地には周囲の山々から多くの川が流れこみ、それらの川の流れてまつわって不可思議な物語が生まれています。また大地から湧き出す清水には病気に効く流行（はやり）神信仰が産まれました。水の神秘性や象徴性を考えます。
11	死の伝承	遠野では年寄りが捨てられるウバステ山と墓地がセットとして存在します。これは老いから死への過程が視覚化されていることであり、死はいつも身近にあったのです。
12	小鳥前世譚	遠野には小鳥の物語、殊に小鳥の鳴き声の人々に物語を創造させてきました。しかも、その物語では小鳥の前世が人であったというのです。つまり生まれ変わりや魂の入れ替わりという考えがみられます。
13	キツネの伝承	遠野でもキツネは人に化け、人をだまします。しかし、キツネの伝承で注意したいのはキツネが死者の魂をあやつることです。そこにキツネを信仰の対象として変化させた民間信仰者の存在を考えなくてはなりません。
14	他界の伝承	遠野では死者が寺に行くという物語が多く語られています。しかもそのような寺には死者の絵や写真が納められています。しかも寺の他界伝承には臨死体験がともなっています。それでは寺、つまり仏教以前の他界観はどのようなものだったのでしょうか。
15	安倍貞任伝承	安倍貞任は平安時代中期に存在していた歴史的人物です。物語では遠野の山中に母親が生存していることになっています。また東北地方の各地に追われ逃げる貞任の伝承が残っています。そこには蝦夷以来の東北への差別があるようです。

平成30年度

科目名	考古学Ⅱ	対象 単位数 必選	短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択	
担当教員	会田 容弘			
開講期	Ⅲ			
授業概要	5月に実施する実習発掘調査に向けて、様々な発掘調査の方法、実際について講義と実習を行ないながら学んでゆく。本年は5月12日から22日まで笹山原遺跡N o. 16の実習発掘を実施する。受講者は発掘調査に参加しなくてはならない。発掘調査終了後は、発掘調査で出土した遺物の整理を行う。			
達成目標	<到達目標>発掘調査の全過程を理解し、実際の発掘調査を行う場合、作業の流れを理解できるレベルに到達できること。発掘調査補助作業ができること。			
受講資格	1年次において考古学Ⅰを履修しているか、考古学の基本知識を有していること。	成績評価 方法	レポートと授業への積極的な貢献状況を100点を満点として評価する。60点以上で合格とするが卒業論文を考古学で作成する学生は80%以上の理解が必要である。	
教科書	『発掘調査のてびき』			
参考書	文化学科（資格課程）報告集第4～20集			
学生への要望	考古学Ⅱを受講する学生は5月に実施する笹山原遺跡N o. 16の発掘調査に参加しなくてはなりません。何らかの事情で、全期間発掘調査に参加できない学生は會田に相談してください。			
オフィスタイム	火曜日3時限目・水曜日2・4時限目。メールの質問も可。レポート作成に関する質問を行う場合は事前にメールで質問内容を示してアポをとること。			
自学自習	発掘調査前は調査に関する講義が中心になるので、事前に調査がどのように行われるのかデータベース「発掘ログイン」や資格課程報告集をよく読んでおくことが事前学習である（1時間）。調査終了後は資料整理実習が中心になるので、実習内容を事前に確認しておくことが事前学習である（1時間）。 発掘調査及び授業の事後学習はその時に実施した内容を整理しておくことである。実習では野帳を貸与するので、それをもとに調査日誌作成が事後学習になる。また、授業においても実習内容（発掘ログイン参照）を整理しておく必要がある。（1時間） これらは、課題レポート作成に役立つ。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	猪苗代湖の自然史	笹山原遺跡群の位置する猪苗代湖の自然史について、福島大学を中心とした研究成果を紹介する。磐梯山の火山的な研究と湿原のボーリング調査によって得られた植生史から、人類が生活できる環境の変遷を述べる。
2	笹山原遺跡群の研究史（1）	最初に笹山原遺跡群で採集された遺物は後期旧石器時代終末の細石刃核である。その後郡山女子大学考古学研究室によって、笹山原A遺跡、N o. 8遺跡の発掘調査が行われた。それらの調査成果を紹介する。
3	笹山原遺跡群の研究史（2）	1989年から会津若松市教育委員会により、笹山原N o. 7, 10, 12遺跡が調査された。それらの遺跡から出土した石器群の内容を紹介し、検討する。
4	笹山原遺跡群の研究史（3）	2001年に郡山女子大学考古学研究室により笹山原N o. 16遺跡が発掘調査された。同時にN o. 27遺跡から様々な石器が採集された。調査成果をまとめ、採集された資料を検討する。
5	笹山原遺跡群研究の課題	これまでの調査成果を整理し、今後の研究課題を提示する。
6	発掘調査の方法	旧石器時代遺跡の発掘調査方法について講義するとともに、代表的な大規模発掘である大阪府翠鳥園遺跡の発掘調査を紹介する。
7	発掘調査の実際（1）	発掘調査で用いる機材の名称、使い方について講義を行い、それを用いた実習を行なう。
8	発掘調査の実際（2）	発掘調査における記録方法を説明する。出土位置の記録方法、レベルの使い方、平面図の描き方、層序断面図の描き方を説明する。発掘現場で用いる野帳の使い方、毎日記録する調査日誌の書き方を説明する。
9	発掘調査の実際（3）	教室内に発掘調査区を模擬的に作り、遺物の出土記録の取り方の実習を行なう。
10	資料整理実習（1）	発掘調査で得られた資料の水洗い、ネーミング、図面整理の実習。
11	資料整理実習（2）	発掘調査で得られた資料の水洗い、ネーミング、図面整理の実習。
12	資料整理実習（3）	発掘調査で得られた資料の水洗い、ネーミング、図面整理の実習。
13	資料整理実習（4）	発掘調査で得られた資料の水洗い、ネーミング、図面整理の実習。
14	資料整理実習（5）	石器の実測法。石器製作技術の説明を行い、石器実測図の描き方を説明する。
15	資料整理実習（6）	石器実測実習。石器の実測図を描く実習を行なう。

科目名	地域文化論Ⅱ		
担当教員	齋藤 美保子, 福島 寅太郎, 二宮 和比古, 桑野 聡, 会田 容弘, 仲田 佐和子, 佐藤 愛未, 野沢 謙治	対象 単位数 必修	短期大学部 文化学科 2年 4単位 必修
開講期	通年		
授業概要	<p>【授業の目的・ねらい】 文化学科は「地方の時代」と言われた1981年に設立された。地方は中央の対概念である。しかしやがて、文化や歴史を中央という一極集中で考えるのではなく、複数の枠組み、地域という視点で捉える発想が生まれてきた。地域文化論では、文化学科の専任教員がそれぞれの分野から、「郡山」という地域の視点で歴史、文化を捉え直す。</p> <p>【授業全体の内容概要】 講義、研究発表、現地研修、講演などを多様に組み合わせながら、地域文化の特質を解明する。</p>		
達成目標	【授業終了時の目標】 地域の存在を、身近な存在として意識すること。		
受講資格	文化学科2年	成績評価 方法	①グループ調査・レポート(60点) ②現地研修(2回予定)への参加(10点×2=20点) ③外部講師・公開講演への参加(10点×2=20点)
教科書	なし		
参考書	『文化学科(資格課程)報告集』第16~20集 郡山女子大学短期大学部文化学科 2014~18年 『地域文化論集』第1~3集 郡山女子大学短期大学部文化学科 2006・2017・2018年		
学生への要望	普段から身近な歴史や文化に関心を持つこと。		
オフィスタイム	6名の教員が担当するので、各教員の指示に従うこと。		
自学自習	事前学修:各自担当している課題(テーマ)に関する予習を行う(1時間)。 事後学修:授業中にわからなかった点などの確認や調査などの復習を行う(1時間)		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	ガイダンス①	平成30年度の地域文化論の進め方を説明し、学生とテーマ探しの準備に取り掛かる。
2	ウォーミングアップ①	3グループ(「考古学・民俗学」、「美学美術史・西洋史」「宗教学・日本史」)に分かれて、テーマ探しを継続する。
3	ウォーミングアップ②	3グループのテーマ探しの経過報告。
4	ウォーミングアップ③	フィールドワーク・資料調査の方法について、民俗学・日本史が報告。これを踏まえて3グループの活動計画を検討。
5	ウォーミングアップ④	3グループ毎に検討を継続。
6	郡山市民の話を聞く会	郡山市文化スポーツ部国際政策課の日本遺産「一本の水路」プロジェクトの概要と地域との関わりについて講演を聞き、検討。
7	現地研修①	「一本の水路」半日コースを実体験(2回分連続実施)
8	現地研修①	「一本の水路」半日コースを実体験(2回分連続実施)
9	グループ調査①	3グループの課題に従い、それぞれのエリアの歴史的資料、観光資源、文化施設などの調査を実施する。
10	グループ調査②	3グループの課題に従い、それぞれのエリアの歴史的資料、観光資源、文化施設などの調査を実施する。
11	グループ調査③	3グループの課題に従い、それぞれのエリアの歴史的資料、観光資源、文化施設などの調査を実施する。
12	グループ調査④	3グループの課題に従い、それぞれのエリアの歴史的資料、観光資源、文化施設などの調査を実施する。
13	中間発表	グループの課題に従い、調査成果の発表を行う。討論を行い、次の課題を設定する。
14	グループ調査⑤	前回の中間報告を踏まえて、もみじ会展示のための調査を継続する。
15	グループ調査⑥	前期作業のまとめを行う。
16	ガイダンス②	もみじ会展示について全体で検討する。
17	展示作業①	もみじ会展示のための準備作業を実施。
18	展示作業②	もみじ会展示のための準備作業を実施。
19	展示作業③	もみじ会展示の反省を実施。
20	現地研修ガイダンス	安積疏水関連施設を訪問する研修コースについて事前学習。
21	現地研修①	安積疏水関連施設を訪問。
22	現地研修②	安積疏水関連施設を訪問。
23	現地研修③	安積疏水関連施設を訪問。
24	現地研修④	安積疏水関連施設を訪問。
25	レポート作成①	3グループ毎に1年間の授業を振り返ってレポートを作成。
26	レポート作成②	3グループ毎に1年間の授業を振り返ってレポートを作成。
27	レポート作成③	3グループ毎に1年間の授業を振り返ってレポートを作成。
28	レポート作成④	3グループ毎に1年間の授業を振り返ってレポートを作成。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
29	レポート作成⑤	3グループ毎に1年間の授業を振り返ってレポートを作成。
30	まとめ	平成30年度地域文化論の総括討論。

平成30年度

科目名	日本史	対象 単位数 必選	短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択
担当教員	佐藤 愛未		
開講期	Ⅲ		
授業概要	江戸時代は徳川氏が江戸幕府を開いた17世紀初頭から、戊辰戦争により新政府が誕生する19世紀半ばまでの約260年間の時代である。幕府と諸藩による長期間の全国統治により、現代社会の仕組みはこの時代に形づくられることになった。現代社会につながる江戸時代および明治時代初期について考えてみる。 江戸時代は、なぜ長期にわたり継続し、そしてなぜ倒れたのか。これを成り立ち～解体期前後の国内外の情勢から日本史の流れの概略を、各講義内容に関連する史料を読みながら、政治体制や社会構造、経済、外交などを基本的な視点に据えて把握する。		
達成目標	過去と現在とを対比し理解を深めること。過去を学ぶことにより、現在・未来の自信を展望すること。		
受講資格	文化学科2年生	成績評価 方法	①課題レポート30点 ②小課題10点 ③期末試験60点
教科書	プリントを配布する。		
参考書	佐々木潤之助ほか『概論日本歴史』吉川弘文館、2000年 松尾正人『維新政権』吉川弘文館、1995年 児玉幸多監修 丸井佳寿子ほか『県史7 福島県の歴史』山川出版社、1997年 ほか適宜指示する。		
学生への要望	問題や目的意識を持って受講すること。身近にある歴史に関心・興味を抱くこと。		
オフィスタイム	火曜日Ⅲ時間目、水曜日Ⅱ時間目。創学館4階、No.4研究室		
自学自習	事前学修：提示されている参考書及び興味を持った事柄に関する文献などを読む。(1時間) 事後学修：授業内容の復習。(1時間)		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	徳川三代と江戸幕府の成立	家康は慶長8(1601)年に征夷大将軍に就任し、江戸幕府を開き、江戸を建設させた。その後、秀忠・家光の時代を経て、政治や社会の仕組みが確立する。近世の政治や社会の仕組みが確立するまでを、織豊期から江戸幕府開設に至るまでの時代背景との関連で考える。
2	「鎖国」への道と四口	日本におけるキリスト教禁教のため、幕府は「鎖国」への道を歩むこととなった。一方で、幕府の管理・独占のもと長崎・対馬・薩摩・松前でオランダやアジアとの交易が行われることとなった。この場をまとめて四口と呼ぶ。「鎖国」と四口について検証し、江戸時代の海外交流について考える。
3	交通網の整備と商業発展	江戸時代は、人々や物(商品)の往来が盛んになり商業経済が発展した時代でもある。その1つの要因として、街道と宿場町の整備、海運・舟運の整備の陸上・海上における交通網の整備行われたためである。これらの整備がふくしまにおいてもどのように実施され、商業発展に影響したのかを論じてみたい。
4	江戸幕府の政治構造と藩の設立	江戸時代は将軍以下の武士階級がその社会を掌握・支配するために、幕府・藩として構築された幕藩体制が確立した。そのため、全国各地には藩が成立し、多岐にわたる格式序列が形成された。幕府と藩、将軍と大名など江戸幕府の構造について論じる。
5	ふくしまの藩と城下町	本県下には、会津・中通り・浜通りに大中小の諸藩が置かれた。各藩の成り立ちを大名配置および城下町の形成との関連から検証し、その特色について学ぶ。
6	近世の村社会	江戸時代、人口の大部分を占め、幕府や大名の経済基礎である米年貢を負担する農民は生産と生活のために相応しいように村をかえていった。村組織・申し合わせや掟、村の共同整備などについても村々で整えられた。村のあり方は社会の変容と共に少しずつ変化し、農民の自立を可能にした背景について考える。
7	寛政改革と地域諸産業の発展	宝暦・天明期には、飢饉や災害などによって政治的・社会的危機が引き起こされた。そこで、松平定信が寛政改革を遂行し、幕府が直面していたさまざまな課題や問題の解決に尽力した。また、諸藩でも、財政窮乏対策のため商品生産や特産物生産の奨励などを行い藩政を立て直した。諸藩の政策と産業発展について考える。
8	天保改革と飢饉～諸藩の改革～	天保期、江戸幕府は内憂外患の本格的な危機の時代をむかえ、その対応策として天保改革を断行した。多くの諸藩も幕府同様に危機に直面し、藩政改革を行う。それらの改革を紹介し、寛政期の藩政改革との相違、および天保期の藩政改革がその後の社会にどのように影響したのかを考察する。
9	朝幕関係と尊号事件	寛政元(1789)年の尊号事件により朝廷と幕府の間に江戸時代初期以来の緊張が走った。江戸時代の朝廷と幕府の関係について、寛永4(1627)年に起こった紫衣事件と尊号事件が前後について学び、その後の国内情勢への影響について考察する。
10	儒学・蘭学・国学—江戸時代の学問	江戸時代には政治や社会状況に合った様々な学問が発展した。儒学・蘭学・国学などが例としてあげられ政治や社会にも利用、活用される。それらの学問と政治・社会との関係について検証する。
11	異国船の来航と沿岸防備	江戸時代後期以降、ラクスマン来日で現実化した対外的危機に直面し、対応策が幕府の重要課題になった。幕府が実施した沿岸防備にも多くの諸藩が動員された。本県下の会津藩・白河藩なども命じられた。沿岸防備の実態について検証する。
12	開港の影響と動揺	安政5(1858)年幕府は米蘭露英仏の5ヶ国と修好通商条約を締結した。それによって、日本は資本主義的世界市場のなかに強制的に組み込まれることとなり、政治・経済などに大きな混乱と影響がおよんだ。開港による社会にもたらした影響と揺らぐ幕藩体制について考える。
13	戊辰戦争と明治維新	慶応4(1868)年1月から始まった戊辰戦争によって、それまで長期にわたって続いた江戸幕府が倒れ、明治政府(維新政府)が誕生した。明治政府の基本方針や実施した政策などについて紹介し、藩体制の解体がどのように進められたのかを検証する。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
14	お雇い外国人と文明開化	明治政府は、「殖産興業」や文明開化などを目的として、欧米の先進技術や学問、制度を輸入するために雇用された外国人（お雇い外国人）を官庁や学校に招聘した。交通・工業技術・軍備・教育面で活躍し、日本の近代化に大きく貢献した。お雇い外国人と文明開化の関係について紹介する。
15	廃藩置県と福島県設立について	明治4（1871）年に全国の藩を廃止して府県に統一する、廃藩置県により藩体制が解体された。全国には府県が成立し、本県にも県が置かれ、現在の福島県になるまでには、いくつかの県の統合が行われた。現在の福島県が出来るまでの過程を探る。

平成30年度

科目名	西洋史	対象 単位数 必選	短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択	
担当教員	桑野 聡			
開講期	IV			
授業概要	1年次の国際文化史では、ヨーロッパの形成から近代化の歴史を駆け足で学んだ。しかし、近代的・合理的と見なされてきたヨーロッパ文明だが、その実像は必ずしもそう言えない多様な側面をもっている。本講義では、ヨーロッパの母胎が形成される時期である中世社会を対象とすることで、複雑で多様なヨーロッパ文化を生み出した深層部分の考察を試みる。具体的には、近代化の過程（19～20世紀）でヨーロッパ各国で作られてきた中世像の特徴を映画や文学、美術などを手掛かりに解説し、検討する。			
達成目標	授業で取り上げられる話題に関心をもって取り組み、現代社会との相違点を発見すると共に、その意味や役割を考える力を育成する。			
受講資格	特になし	成績評価 方法	レポート（70%）・授業時の質疑応答（30%）	
教科書	指定しない			
参考書	堀越宏一・甚野尚志 編著『15のテーマで学ぶ中世ヨーロッパ史』ミネルヴァ書房 2013年、など必要に応じて提示する			
学生への要望	基本用語を『世界史B用語集』や高校の教科書、資料集などを用いて自主的に調べる姿勢も期待したい。新聞やニュースの国際情報にアンテナを張って欲しい。			
オフィスタイム	火曜日のII時限目（10:30～12:00） 考古学研究室			
自学自習	事前学習： 予習（1時間） 事後学習： レポート作成・ノート整理（1時間）			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	ガイダンス 9月14日	授業の進め方を解説し、次回からのウォーミングアップを行う。
2	ウォーミングアップ① 9月21日	19世紀の中世再評価について概観する。
3	ロシアと中世ヨーロッパ① 9月28日	ロシアの歴史と西欧（ヨーロッパ）の関係を概観する。東欧（ビザンツ世界）の後継者としての歴史と共にアジア（モンゴル帝国）の後継者という顔を持つロシアの特異性に着目する。
4	ロシアと中世ヨーロッパ② 10月12日	ロシアを代表する映画監督S.エイゼンシュタインの映画「イワン雷帝」（1944・46）について解説する。
5	ロシアと中世ヨーロッパ③ 10月19日	ロシア革命とラスプーチンについて学生と議論したい。
6	イギリスと中世ヨーロッパ① 10月26日	イギリスの歴史と西欧（大陸ヨーロッパ）の関係を概観する。島国として意識が形成され、ヨーロッパ諸国の中で特異な立ち位置にある現在のイギリスを確認する。
7	イギリスと中世ヨーロッパ② 11月2日	大英帝国全盛期のヴィクトリア朝を特徴づけるゴシック・リヴァイバルについて解説する。
8	イギリスと中世ヨーロッパ③ 11月9日	コナン・ドイルおよびシャーロック・ホームズについて学生と議論したい。
9	魔女狩りと中世ヨーロッパ① 11月16日	中世ヨーロッパを暗黒時代としてイメージづける魔女狩りの歴史を概観する。異端審問から魔女狩りが分離する過程とキリスト教以前からの異教的伝統の残滓に着目する。
10	魔女狩りと中世ヨーロッパ② 11月22日（木）	ジャンヌ・ダルク裁判について解説する。
11	魔女狩りと中世ヨーロッパ③ 11月30日	ヨーロッパの魔女像について学生と議論したい。
12	騎士物語と中世ヨーロッパ① 12月7日	アーサー王伝説について解説する。ヨーロッパ各地で多様な発展を遂げた騎士道と騎士物語の背景を考察する。
13	騎士物語と中世ヨーロッパ② 12月14日	ロビン・フッド伝説について解説する。騎士道物語の伝統とは別に自然崇拜などの異教的背景に着目する。
14	騎士物語と中世ヨーロッパ③ 12月21日	後代の物語で悪役とされるジョン王について学生と議論したい。
15	まとめ 1月11日	半期の授業を振り返って、中世ヨーロッパ社会と現代社会の関係を再考察する。



平成30年度

<b>科目名</b>	文化資源論	<b>対象 単位数 必選</b>	短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択	
<b>担当教員</b>	二宮 和比古			
<b>開講期</b>	Ⅲ			
<b>授業概要</b>	記録された資料を守る知識と方法を知るのが目標です 図書館や文書館の記録という文化資源を守るための、資料保存の考えかたを学びます 紙資料だけでなく新たな記録媒体の記録が守れない現状を理解します			
<b>達成目標</b>	記録された資料を守る知識と方法を知るのが目標です 図書館や文書館の記録という文化資源を守るための、資料保存の考えかたを学びます 紙資料だけでなく新たな記録媒体の記録が守れない現状を理解します			
<b>受講資格</b>	文化学科の学生 科目等履修生	<b>成績評価 方法</b>	出席は学則による	20%
			映像鑑賞のコメント	40%
			課題提出	40%
<b>教科書</b>	とくに定めません			
<b>参考書</b>	授業初回時に関連文献リストを配布			
<b>学生への要望</b>	「文化」「記録」というキーワードから、文化資源を伝えていく重要性を考えてください			
<b>オフィスタイム</b>	月曜日15時～17時 水曜日10時～17時 木曜日15時～17時			
<b>自学自習</b>				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	文化資源という発想	文化資源とは何か
2	文化資源を残す	残し伝えるための考え 私たちは何を残し、何を残せないのか 残し伝えるための記録
3	記録は媒体に書きつけられている	記録媒体の歴史 石、粘土、布、木、竹、葉、パピルス、羊皮紙、紙 デジタル記録媒体の歴史
4	紙資料の崩壊	映像資料「Slow Fire」鑑賞 解説
5	デジタル記録の危機	映像資料「Into the future」鑑賞 解説
6	資料保存のとりくみ①	本の敵を知る 外からの敵 内からの敵
7	資料保存のとりくみ②	劣化原因を取り除く 代替媒体に移し替える MF デジタル記録媒体
8	より長く資料の寿命をのばす	記録媒体に関する知識を得る 取りあつかい ハンドリング
9	紙の歴史をさぐる①	製紙の歴史 紙の伝播 中国 日本 ヨーロッパ 和紙と洋紙 映像資料「美濃紙のできるまで」鑑賞 解説
10	紙の歴史をさぐる②	映像資料「時代をリードする紙を求めて」鑑賞 解説
11	利用のための資料保存①	映像資料「利用のための資料保存1」鑑賞 解説 日本での取り組み
12	利用のための資料保存②	映像資料「利用のための資料保存2」鑑賞 解説 図書館でおこなう実践的な手立て
13	日本の図書館でのとりくみ	日本図書館協会資料保存委員会 全国歴史史料保存連絡協議会 文書館でのとりくみ 国立国会図書館 大学図書館 法政大学大原社会科学研究所 中央大学図書館 国立音楽大学図書館 専門図書館 お茶の水図書館
14	世界の図書館でのとりくみ	合衆国議会図書館 NYPL ハーバード大学図書館 IFLA国際図書館連盟でのコアプログラムと国際間の連携
15	ディスカッション	文化資源を残し伝えるということ 記録を残し伝えるということ

科目名	比較宗教学	対象 単位数 必選	短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択	
担当教員	福島 寅太郎			
開講期	IV			
授業概要	<p>[授業の目的・狙い]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世界の諸宗教の歴史と考えを学ぶ。</li> <li>2. 世界の諸宗教の特徴と異同を理解する。</li> <li>3. 宗教学の観点から宗教を捉える方法を学ぶ。</li> </ol> <p>[授業の概要]</p> <p>今年は東日本大震災への体験を踏まえつつ、生活と宗教との関わりについて比較宗教学の観点から考えてみたい。</p> <p>比較宗教学はヨーロッパのヒューマニズム思想の流れの中で、ヨーロッパ以外の地域の宗教に関する情報をも取り入れて、「人間中心」の観点から「宗教」の起源や根拠を研究する学問として成立し、やがて隣接諸学問との連携のもとで、研究分野を拡大してきている。その主な研究対象として、神あるいは聖なるものの特性、神話、宗教的な行為あるいは儀礼、宗教の社会的機能、呪術と宗教、宗教的人格、宗教的心理、現代社会と宗教、宗教と癒しなどがある。本講義はそれらを紹介するとともに学問的な理解を深めていきたい。</p> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①宗教学的“ものの見方”を理解する。</li> <li>②宗教が身近な存在であることを再確認し、「宗教」に対する偏りのない理解ができることを目指す。</li> <li>③紹介された諸事例を通じて、「宗教」と「宗教的なもの」との異同を理解する。</li> </ol>			
達成目標	<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①宗教学的“ものの見方”を理解する。</li> <li>②宗教が身近な存在であることを再確認し、「宗教」に対する偏りのない理解ができることを目指す。</li> <li>③紹介された諸事例を通じて、「宗教」と「宗教的なもの」との異同を理解する。</li> </ol>			
受講資格	文化学科 2年生	成績評価 方法	試験成績(60点以上)、出席状況(60%)、授業への理解度8割で、合とする	
教科書	特になし			
参考書	『心経禅解—生活禅の立場から「般若心経」を読む』、浄慧著、東京・山喜房出版、2018年。購買部で買い求めることができず			
学生への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加すること。</li> <li>・ノートをこまめにとること。</li> </ul>			
オフィスタイム	月曜日から金曜日（火曜日を除く）昼休み(12時～12時40分の間)			
自学自習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習:当日の内容についての予習を忘れずにしてください(1時間)。</li> <li>・事後学習:与えられた課題を期間内に完成すること(1時間)。</li> </ul>			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	宗教の分類	宗教類型論に関する従来の研究を概観し、宗教の多様性を明らかにすることで、「人間と宗教」の問題を考える。
2	神中心の宗教	神に視点をおいてみると、宗教の中には、神を立てるものと神を立てないものとの二つがあることに気づく。いわゆる有神の宗教と無神の宗教である。ここではそれらを具体的に指摘する。
3	人間中心の宗教	人間に視点をおいてみると、宗教の中には、人間中心のものがあり、いわゆる権威主義的宗教と人間主義的宗教がそれぞれである。
4	神秘主義的宗教と預言者的宗教	東洋の禅仏教に着目しつつ、とくにキリスト教神秘主義とユダヤ教の預言者の宗教を取り上げて分析する。
5	汎神的宗教	神、絶対者、自然、宇宙などについて考えてみる。
6	民族宗教と世界宗教	それぞれの共通点と相違点を具体的に指摘し、人間と宗教との関わり方を明らかにしたい。
7	人間観と救済観	民族宗教と世界宗教の人間観と救済観について、ユダヤ教、神道、道教および仏教、キリスト教、イスラム教を具体例として考えてみる。
8	信仰の担い手	個人意識と社会意識に焦点を当てて、宗教とアイデンティティの問題を考える。
9	幸福観	幸福の源泉と「恵み」について、ユダヤ教を例に取り上げて見てみる。
10	世界中心の思想	ミルチャ・エリアーデの宗教学における「世界の中心の思想」に着目し、諸宗教の世界観を概観する。
11	救済の原理と価値観の転換	民族宗教と世界宗教における救済原理と価値観を比較し、その多様性を明らかにする。
12	死生観	民族宗教と世界宗教の人間観を比較してみる。
13	宗教的人間 その一	これまでの授業を踏まえつつ、「宗教的人間」の問題を考える。
14	宗教的人間 その二	これまでの授業を踏まえつつ、「宗教的人間」の問題を考える。
15	最終回(まとめ)	試験については、前の週の授業において指示する。

平成30年度

<b>科目名</b>	文芸論	<b>対象 単位数 必選</b>	短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択	
<b>担当教員</b>	真船 均			
<b>開講期</b>	Ⅲ			
<b>授業概要</b>	<p>〔授業の目的・ねらい〕 「文学理論」の解説</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 文化を読み解くための画期的な入門書といわれているジョナサン・カラーの『文学理論』をテキストに、文学理論の全般を詳しく解り易く解説する。各章に2時限を当て、テリー・イーグルトンやピーター・バリー等の文学理論も随時紹介する。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 授業の目的・ねらいを達成し、80点以上の評価を得られるようにする。</p>			
<b>達成目標</b>	<p>〔授業の目的・ねらい〕 「文学理論」の解説</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 文化を読み解くための画期的な入門書といわれているジョナサン・カラーの『文学理論』をテキストに、文学理論の全般を詳しく解り易く解説する。各章に2時限を当て、テリー・イーグルトンやピーター・バリー等の文学理論も随時紹介する。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 授業の目的・ねらいを達成し、80点以上の評価を得られるようにする。</p>			
<b>受講資格</b>	文化学科2年	<b>成績評価 方法</b>	期末試験100点	
<b>教科書</b>	ジョナサン・カラー『文学理論』富山太佳夫訳 岩波書店			
<b>参考書</b>	特になし			
<b>学生への要望</b>	授業へは積極的に関わり、予習復習に励んで下さい。			
<b>オフィスタイム</b>	水曜6限の教務部非常勤控室			
<b>自学自習</b>				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	授業説明、「理論とは何か？」解説	授業の進め方、評価方法を説明する。「理論とは何か？」を解説する。
2	「理論とは何か？」の分析	「理論とは何か？」をピーター・バリーの「リベラル・ヒューマニズム」を紹介しながら再び解説する。
3	「文学とは何か？」の解説 「文学とは何か？文学は重要か？」を解説する。	「文学とは何か？文学は重要か？」を解説する。
4	「文学は重要か？」の解説	「文学とは何か？文学は重要か？」をテリー・イーグルトンの「文学とは何か？」を紹介しながら再び解説する。
5	「カルチュラルスタディーズ」	「文学とカルチュラルスタディーズ」を解説する。
6	続「カルチュラルスタディーズ」	「文学とカルチュラルスタディーズ」を再び解説する。
7	「言語、意味、解釈」の解説	「言語、意味、解釈」を解説する。
8	「言語、意味、解釈」の分析	「言語、意味、解釈」をイーグルトンの「現象学、解釈学」を紹介しながら解説する。
9	「レトリック、詩学、詩」の解説	「レトリック、詩学、詩」を解説する。
10	「レトリック、詩学、詩」の分析	「レトリック、詩学、詩」を再び解説する。
11	「物語（ナラティヴ）」の解説	「物語（ナラティヴ）」を解説する。
12	「物語（ナラティヴ）」の分析	「物語（ナラティヴ）」をバリーの「物語論」を紹介しながら再び解説する。
13	「諸理論の流派と運動」の解説	「諸理論の流派と運動」を読み、文学理論の歴史を辿る。
14	「諸理論の流派と運動」の分析	「諸理論の流派と運動」の分析を通して、再び文学理論の歴史を辿る。
15	学習の振り返り	学習全体を振り返り、不足を補い、到達目標が得られるようにする。

平成30年度

<b>科目名</b>	芸能論	<b>対象 単位数 必選</b>	短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	一柳 智子		
<b>開講期</b>	IV		
<b>授業概要</b>	<p>本授業では、芸能を広義のパフォーミング・アーツとして捉え、その核としての舞踊を中心に扱います。日本内外の芸能を網羅的に学び、その比較考察から、身体表現としての舞踊によって人は何を表現しようとしているのかを考え、舞台等のパフォーマンスを鑑賞する目と教養を養いましょう。</p> <p>また、音楽・映像を使用する際著作権を侵害しないようにする。</p>		
<b>達成目標</b>	<p>達成目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の伝統芸能とその根底にある民俗芸能を理解する。</li> <li>2. 身体芸術の最高峰であるバレエを頂点とする西洋的舞踊を理解する。</li> <li>3. 世界の民族舞踊を理解する。</li> <li>4. 日本、西洋、世界の舞踊動作を比較することによって、さらに深く身体表現としての舞踊を理解する。</li> </ol>		
<b>受講資格</b>	文化学科	<b>成績評価 方法</b>	レポート50点、提出物20点、平常点30点
<b>教科書</b>	なし		
<b>参考書</b>	授業内で随時提示します。		
<b>学生への要望</b>	日本の芸能や海外の舞踊を網羅的に授業で扱うため、世界の種々の身体芸術に関心を持ってもらいたい。		
<b>オフィスタイム</b>	木曜日12:50~16:00 825研究室（一柳）		
<b>自学自習</b>	<p>事前学習：適宜授業内で提示した参考書等から各授業テーマに関連した箇所を読んでおくこと。（1時間）</p> <p>事後学習：授業について、配布プリント等を参考にまとめておくこと。（1時間）</p>		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	オリエンテーション	<p>本講義の15回の授業のコンセプトと流れの説明</p> <p>語義の確認</p> <p>「芸能」：「古典」と「民俗」または「民俗」と「民族」</p> <p>「舞踊」</p> <p>「無形民俗文化財」：国の施策としての文化財。人間国宝。</p> <p>「無形文化遺産」：2006年ユネスコによる「世界無形文化遺産保護条約」以降</p>
2	日本の伝統芸能—舞楽	<p>舞楽の歴史</p> <p>現代の舞楽シーン</p> <p>舞楽演目『還城楽』鑑賞：物語性、歴史性、舞の特徴</p>
3	日本の伝統芸能—散楽から能楽へ	<p>日本古来の神楽と外来楽である舞楽との融合的な散楽が、今日の能楽へと発展していく過程を眺める。</p> <p>また、能楽の大成者観阿弥と世阿弥の業績をみる。</p>
4	日本の伝統芸能—能楽	<p>能の舞台</p> <p>能の面と装束</p> <p>作品鑑賞</p>
5	日本の伝統芸能—狂言	<p>能楽と狂言の関係</p> <p>作品鑑賞</p>
6	日本の伝統芸能—人形浄瑠璃	<p>現在なぜ「文楽」というのか。</p> <p>竹本義太夫と近松門左衛門。</p> <p>人形の三人遣いと人間の舞踊動作。</p> <p>作品：時代物と世話物</p>
7	日本の伝統芸能—歌舞伎	<p>歌舞伎の歴史：</p> <p>出雲のお国、ややこ踊り、かぶき踊り、念仏踊りと民俗芸能とのかわり</p> <p>若衆歌舞伎から野郎歌舞伎へ</p> <p>現代の歌舞伎の始祖。「義太夫狂言」「純歌舞伎」「所作事（舞踊劇）」</p> <p>作品鑑賞</p>
8	歌舞伎作品の鑑賞	<p>多くの歌舞伎作品の中から、歴史のおよび演目的に着目して、テーマに従って選択し鑑賞します。</p> <p>具体的演目名は授業内で説明します。</p>
9	西洋の舞踊—バレエの歴史	<p>バレエの歴史</p> <p>ルネッサンス以後イタリアで発生したバレエは、フランスでその芸術の花を開花させ、ロシアのロマノフ王朝の庇護のもと世界的な身体芸術となった。20世紀に入り、特に第2次大戦後イギリスやアメリカでもバレエが根付き、世界的なバレエ団が多く結成され活躍している。</p>

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
10	西洋の舞踊—バレエの歴史-2	四大古典作品：白鳥の湖、くるみ割り人形、眠れる森の美女、ジゼル 20世紀以降：ディアギレフによるロシアバレエ団 ニジンスキーとストラビンスキーを中心として
11	西洋の舞踊—バレエの技法とバレエ団	バレエの技法のうち主なものについて解説する 世界のバレエ学校とワガノフ・バレエ学校におけるバレエ教育 世界のバレエ団
12	西洋の舞踊—バレエ作品の鑑賞	四大古典作品（白鳥の湖、くるみ割り人形、眠れる森の美女、ジゼル）の鑑賞のみならず、幅広い作品群から、テーマに即した作品の鑑賞を行います。舞踊的身体動作の鑑賞に加えて、作品の原作の吟味等、鑑賞のための幅広い知識を得ます。
13	西洋の舞踊—モダンからコンテンポラリーへ	20世紀 イサドラ・ダンカン、ルース・セント・デニスら 新しい舞踊文化の開花 現代的なダンス・シーン
14	海外の舞踊—ヨーロッパとアフリカ・ルーツの舞踊文化	ヨーロッパの脚の舞踊文化：アイリッシュ・ダンス アフリカ・ルーツの舞踊文化：アイソレーションからジャズ・ダンスへ
15	まとめ	日本の伝統芸能、身体芸術の最高峰バレエ、民族的特徴を有するその他の舞踊文化等を総括する。

科目名	博物館情報・メディア論	対象 単位数 必選	短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択
担当教員	福島 ひろ子		
開講期	Ⅲ		
授業概要	情報化社会および生涯学習時代において、視聴覚メディア教育の重要性と必要性が益々高まってきており、情報技術の日進月歩の発達により、メディアが博物館などの文化施設の利用形態へ与える影響は特に大きい。本講義では、メディアの歴史や近代のマスメディアの発展、メディアと教育との関係、コンピューターの登場とインターネット、メディアリテラシー、世界の博物館や美術館における映像展示の歴史と現状及び災害報道などについて映像メディアを通して具体的に学ぶ。それらを通して、人間社会に与えるメディアの影響およびその意義を考えると共に、特に博物館や美術館、公民館などで働くために必要と思われる基礎的な専門的知識を身につけることを目標としている。授業では主としてPower Pointを使って進めることになるが、有名な博物館や美術館におけるメディア活用の実態を知るために、今日最大のメディアである映像を視聴覚することもある。		
達成目標	情報化社会および生涯学習時代において、視聴覚メディア教育の重要性と必要性が益々高まってきており、情報技術の日進月歩の発達により、メディアが博物館などの文化施設の利用形態へ与える影響は特に大きい。本講義では、メディアの歴史や近代のマスメディアの発展、メディアと教育との関係、コンピューターの登場とインターネット、メディアリテラシー、世界の博物館や美術館における映像展示の歴史と現状及び災害報道などについて映像メディアを通して具体的に学ぶ。それらを通して、人間社会に与えるメディアの影響およびその意義を考えると共に、特に博物館や美術館、公民館などで働くために必要と思われる基礎的な専門的知識を身につけることを目標としている。授業では主としてPower Pointを使って進めることになるが、有名な博物館や美術館におけるメディア活用の実態を知るために、今日最大のメディアである映像を視聴覚することもある。		
受講資格	社会教育主事課程、学芸員課程	成績評価 方法	①出席状況、授業中の態度など20点 ②小テスト20点 ③課題20点 ④期末試験40点
教科書	特に指定しない。必要に応じて、プリントの配布や参考文献の案内を行う		
参考書	特に指定しない。		
学生への要望	紹介された参考文献や図書などを可能な限り読んで、理解しておくこと。		
オフィスタイム	水曜日Ⅱ限目の教務部非常勤控室		
自学自習			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	オリエンテーション	時間配分や進め方などについて説明し、参考文献の案内なども行う。
2	世界の博物館における映像の展示と現状①	まず日本の博物館のメディア活用について学ぶ。具体的には国立民族博物館、東京国立博物館などを中心に取り上げることになるが、近年、日本の一部の大学でも「大学博物館」が作られており、そうした新しい動向についても解説し、それらに見られるメディアの利用と活用の現状を紹介する。
3	世界の博物館における映像の展示と現状②	アジアの博物館のメディア活用について学ぶ。具体的には北京および台北にある二つの故宮博物館を取り上げることになる。
4	世界の博物館における映像の展示と現状③	欧米の博物館のメディア活用について学ぶ。具体的には、The British Museum、Musees（フランス）、The National Museum of American History などを取り上げることになる。
5	メディアの発達について	情報伝達やコミュニケーションに深く関わっているメディアの歴史を考えると共に、人間社会におけるコミュニケーションの仕組みを学ぶ。
6	文化の伝達と情報記号について	文化の伝達と社会的コミュニケーションの道具としてのメディア、さまざまな情報記号を概説し、視聴覚教育メディアとしての意味を理解する。
7	近代マスメディアの発達について	新聞、広告、映像の発達などについて解説すると共に、生涯教育におけるメディアの影響を考える
8	メディアと教育について	教育情報としてのメディアについて、種々の例を具体的に紹介しながら、メディアと教育との関わりを理解する。
9	コンピューターの登場とインターネットの普及について	コンピューターの登場やインターネットの普及により、博物館や美術館などの文化施設や公民館の利用と活用に大きな変化をもたらしている。いくつかの実例を紹介しながら、その現状と実態を理解する。
10	マルチメディアコンテンツとデジタル情報について	音声・動画・グラフィックスなどを用いた情報媒体を紹介し、市民の文化的生活におけるそれらの役割を理解する。
11	メディアリテラシーとは何か	新聞などを活用し、現代社会におけるメディアリテラシーの問題について学ぶと共に、日頃使っている携帯という新しいメディアを具体例に考える。知的財産権も当然話題になる。
12	インターネットによる視聴覚素材の探索法	インターネットというメディアを有効に利用し、視聴覚の素材を探索する方法を学ぶ。
13	映像メディアの諸相と災害報道	視聴覚教育メディアについて、映画、コマーシャル、テレビ、ドキュメンタリー及び災害報道などを取り上げて、その理解を深める。
14	自然災害と視聴覚教育メディアの諸問題	自然災害と視聴覚教育メディアにおける今日的な諸問題について、災害報道を踏まえつつ、メディア学の視点から考える。
15	まとめ	これまでの授業を振りかえつつ、授業の内容を纏めると共に、その狙いなどを指摘する。質疑応答という形で行うことになる。試験についての説明もする予定である。

平成30年度

科目名	博物館展示論	対象 単位数 必選	短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択
担当教員	斎藤 美保子, 仲田 佐和子		
開講期	IV		
授業概要	展示の歴史、メディア、教育活動、諸形態に関する理論及び方法に関する知識、技術を習得し、博物館展示の基礎能力を養う。		
達成目標	博物館展示に精通することによって、歴史資料や美術工芸品と向き合う姿勢、鑑識眼を身につけることの大切さを知る。		
受講資格	文化学科2年生	成績評価 方法	授業中の課題 (50%) 学期末の記述試験 (50%)
教科書	特に定めない		
参考書	『博物館展示法』 雄山閣出版		
学生への要望	休みの日には近隣の美術館、博物館を訪ね、展示方法に注目すること。		
オフィスタイム	月曜日V、水曜日V		
自学自習	授業内で示す資料を探し、精読すること。授業内で課題とする小レポートを、丁寧に仕上げること。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	オリエンテーション	学芸員資格としての展示論の意義。学内のブロンズ像を例にコミュニケーションとしての展示を考える。
2	展示と展示論の歴史 (日本)	上野の国立博物館、西洋美術館、県内の美術館の歴史を辿り、重要な展示品を映像等で鑑賞理解する。
3	展示と展示論の歴史 (西洋)	大英博物館、ルーヴル美術館の歴史を辿り、重要な展示品を映像等で鑑賞理解する。
4	調査研究の成果の展示	第202回芸術鑑賞講座「竹久夢二展」に示された研究の成果を理解する。
5	展示の政治性と社会性	ルーヴル美術館の20世紀史から展示の政治性を理解する。県立美術館の開設を例に、社会性を理解する。
6	展示の諸形態	日本風俗美術館、上村松園作品展、62年館民具展示ケースの各展示を理解し、それぞれの特徴を比較する。
7	展示の制作	もみじ会の展示を振り返り、博物館実習で展示制作を実施する。
8	関係者との協力	学芸員として展示に関わっている卒業生から体験談を聞き、ひとつの展示が仕上がるまでの協働を学ぶ。
9	日本文化再確認	慎思庵で和の文化を実体験する。掛け軸、茶碗、漆器、着物の扱いに慣れる。
10	展示の評価と改善	観覧者への聞き取り、アンケートなど展示評価の種々の方法を比較検討する。評価後の改善例を考える。
11	解説文・解説パネル	学内の解説文を検討評価し、各自でより良い解説文を試作しする。
12	人による解説	旋回の解説文をパワーポイントの資料にして、口頭での解説を試みる。
13	展示解説書	前回のパワーポイント資料を解説書にし、簡易製本する。
14	設えと生け花	日本の生活に潤いをもたらしてきた設えについて考え、生け花の実演から展示の意義を学ぶ。
15	まとめ	授業を振り返り、種々の質問に答える。試験の指示をする。

科目名	博物館教育論		対象 単位数 必選	短期大学部 文化学科 2年 2単位 選択
担当教員	仲田 佐和子			
開講期	Ⅲ			
授業概要	本授業では、社会教育施設である博物館の役割を教育・学習の観点から検討する。現代は社会生活の多様化、高学歴化、生涯学習の普及などにより、博物館の教育的役割が今までになく重視されるようになった。このことから、博物館教育の理念・方針、実践事例などを紹介し、生涯学習時代にふさわしい博物館のあり方、利用者と博物館の関係性を考察する。			
達成目標	博物館の教育的活用・運営に必要な基本的知識を習得し、自ら課題を見つけ解決できる学芸員補としての知識を習得する。			
受講資格	文化学科2年生	成績評価 方法	①授業への積極的な姿勢10点 ②中間レポート40点 ③期末レポート50点	
教科書	使用しない。資料を配布する。			
参考書	①全国大学博物館学講座『新時代の博物館学』芙蓉書房出版、2012年 ②小笠原・並木・矢島『博物館教育論』ぎょうせい、2012年			
学生への要望	博物館、美術館等に問題意識を持って、積極的に訪れてほしい。 また、新聞等で文化財や博物館に関する記事を注意してほしい。			
オフィスタイム	火曜日V時限、水曜日V時限。創学館No.4研究室。			
自学自習	毎日、新聞に目を通し、文化財や博物館に関する記事について考察する。(1時間) 博物館、美術館等の広報を常に注目し、興味、関心のある展示は積極的に観に行くとともに、感想をまとめる習慣をつける。(1時間)			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	ガイダンス	学芸員科目改正による『博物館教育論』新設の要因を解説し、今後の授業計画を説明する。
2	福島県の博物館	福島県博物館連絡協会加盟の博物館を紹介する。規模・設置目的・収蔵資料など、県内の博物館が多様な形態であることを指摘し、財源難・入館者減・高齢化など、厳しい現状に直面している博物館を考える。
3	博物館教育の理念と目的① ～生涯学習と博物館	生涯学習の考え方を検証し、生涯学習時代到来が社会の要請であることを考える。生涯学習にとって、知識意欲を啓発する博物館の教育的役割が重要であることを確認し、博物館を拠点とする生涯学習のあり方を考察する。
4	博物館教育の理念と目的② ～地域社会と博物館	住民参加による地域活動の拠点としての博物館、利用者(学習者)主体の博物館運営が要請されるようになった。特定の行政区域、地域社会を基準に設置された博物館は多種多様な地域資源を収蔵しており、地域再発見の役割を考えてみる。
5	博物館教育の理念と目的③ ～博物館教育と学校教育	博物館と学校はともに社会教育施設であり、学芸員と学校教師は社会教育に携わる専門職である。両者の役割を比較しながら、両者の連携のあり方、学校とは異なる学習体験可能な博物館教育の独自性を検証する。
6	博物館教育の理念と目的④ ～博物館教育と学び	博物館運営は資料(モノ)・知識の一方的伝達から利用者の自己学習を支援するように変化してきた。博物館における学びの特質を利用者の視点にたって考えてみる。
7	博物館教育の方針①～博物館教育と利用者	博物館は展示見学の一般市民・研究者・学生・友の会など、年齢・興味・目的を異にする、さまざまな個人・団体に囲まれている。博物館教育に相応しい、博物館と利用者(学習者)との相互関係作りを検証する。
8	博物館教育の方針②～博物館教育の評価	社会教育施設と見做される博物館は教育的活動が地域社会や利用者(学習者)により不断に評価される。博物館は教育活動の概要を外部に提示しなければならない存在となった。評価に相応しい教育活動の企画立案と課題を考えてみる。
9	博物館教育の方針③～博物館教育と学芸員	利用者(学習者)の近くに位置する学芸員には、資料収集・展示・調査研究など多様な専門性に加えて、生涯学習支援者としての教育的役割が求められるようになった。博物館と地域社会をつなぐ学芸員像を検証する。
10	博物館教育の実際①～展示と展示解説	展示は資料(モノ)の陳列ではない。展示担当者の学芸員は利用者(学習者)の学習意欲を刺激し、興味を持たせるための展示を模索しなければならない。効果的に学習行動へ導く展示のあり方を検証する。展示理解を支援する展示解説・解説シートについても説明する。
11	博物館教育の実際②～講習会と講座	展示と共に、講習会・講座は学芸員の専門的研究成果を利用者(学習者)に発信する重要な手段である。利用者の学習支援に合う講習会・講座の運用を考える。
12	博物館教育の実際③～出前講座	学校と市民を対象とした「出前講座」がある。これは学芸員が専門分野の学習メニューを作成し、直接出向いて学校支援・生涯学習支援を図るものである。利用者の掘り起こしでもある「出前講座」の実例を紹介する。
13	博物館教育の実際④～ワークショップ	博物館教育は一方的に知識・情報を伝達することではない。「ワークショップ」は利用者(学習者)の主体性を重視した参加・体験型の教育活動である。新たな学びを創出する「ワークショップ」の実例を紹介する。
14	博物館教育の実際⑤～博物館友の会	博物館友の会は会員の相互親睦団体であり、博物館の支援団体である。会員は学芸員と共に博物館の教育活動を創造していく存在である。生涯学習の一翼を担うようになった博物館の友の会活動支援を検証する。これまでの講義内容を念頭に、生涯学習時代の社会が要請する利用者(学習者)主体の博物館教育を展望する。
15	まとめ～博物館教育の今後	これまでの講義内容を念頭に、生涯学習時代の社会が要請する利用者(学習者)主体の博物館教育を展望する。



<b>科目名</b>	卒業研究		<b>対象 単位数 必選</b>	短期大学部 幼児教育学科 2年 2単位 必修/短期大学部 生活芸術科 2年 4単位 必修/短期大学部 音楽科 2年 2単位 必修/短期大学部 文化学科 2年 4単位 必修/短期大学部 家政科食物栄養専攻 2年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 2年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	斎藤 美保子			
<b>開講期</b>	通年			
<b>授業概要</b>	授業では各自の問題関心に合わせながら、文献の探し方、先行研究の整理、論文の書き方、仕上げ方などについて具体的に指導すると共に、中間発表も計画しています。なお、卒業論文（12000字以上）の提出日は2019年1月です。			
<b>達成目標</b>	「探求力」「文章力」「表現力」の修得は卒業論文の基本モットーです。 ・論理的にものごとを考えることができる能力を修得します。 ・専門分野の探求において、文化の多様性を理解すると共に、自らの力で問題を発見し、それを創造的に解決する能力を身につけます。 ・専門的な知識の探求を通して、社会に貢献できる力を身につけます。			
<b>受講資格</b>	文化学科2年生 美学・美術史の方法論で卒業研究を行う学生	<b>成績評価 方法</b>	・授業における内容の発表（30点） ・卒業論文の内容は論理的で創造的であること（50点） ・卒業研究発表会（20点）	
<b>教科書</b>	齋藤美保子著『莊司福作《霧林》に関する一考察』（抜き刷りを配付する）			
<b>参考書</b>	各自のテーマにより、授業内で助言する			
<b>学生への要望</b>	美学・美術史だけでも幅広いので、各自興味関心の強い、独創的なテーマをみつけ、精緻な調査と論理的な文章、説得力のある発表を目指してほしい。 論文執筆に際しては、参考文献20冊、短文の英文資料読解を課す。			
<b>オフィスタイム</b>	月曜V・木曜V No5研究室			
<b>自学自習</b>	事前学修：自分の考えを先行研究を上げながら、きちんと説明できるようにしておく（1時間） 事後学修：新たな課題に対し、調査し、考察し直すこと（1時間）			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	オリエンテーション	教員の近況報告と学生の研修旅行報告。 過去の学生の卒業論文を参照し、各自のテーマを検討する。
2	研究倫理	先行研究の調査と自己の研究の独自性、引用文献・参考文献の提示の仕方等を理解する。
3	文献読解1	各自のテーマにおける基本文献を精読し、要旨をまとめる。
4	文献読解2	各自のテーマにおける基本文献を精読し、要旨をまとめる。
5	文献読解3	各自のテーマにおける基本文献を精読し、要旨をまとめる。
6	文献読解4	各自のテーマにおける基本文献を精読し、要旨をまとめる。
7	文献読解5	各自のテーマにおける基本文献を精読し、要旨をまとめる。
8	文献読解6	各自のテーマにおける基本文献を精読し、要旨をまとめる。
9	実作調査の準備	テーマに関わる美術作品等を調査できるよう、準備する。
10	実作調査1	美術館等で実作調査を行う。
11	美術館等で実作調査2	美術館等で実作調査を行う。
12	発表資料作成	パワーポイント（10カット）で発表資料を作る。
13	配布資料作成	配付資料（A4一枚）を作る。
14	中間発表会	それぞれのテーマで15分ずつの発表を行う。
15	発表の講評と夏休み課題の指示	前回の中間発表の講評をし、夏休み中に読むべき文献、まとめるべき文章を指示する。
16	夏休み中の報告	夏休み中の進捗状況を報告する。
17	文献読解7	各自のテーマにおける基本文献を精読し、要旨をまとめる。
18	文献読解8	各自のテーマにおける基本文献を精読し、要旨をまとめる。
19	文献読解9	各自のテーマにおける基本文献を精読し、要旨をまとめる。
20	文献読解10	各自のテーマにおける基本文献を精読し、要旨をまとめる。
21	論文執筆準備	テーマを再確認し、論文執筆の準備をする。
22	論文の章立て	12000字以上の卒業論文の組み立てを検討する。
23	註・参考文献の記載	註・参考文献の記載に関し、注意する。
24	卒業研究の要旨の下書き	各自の下書きを読み上げ、検討する。
25	卒業研究の要旨提出	要旨の最終原稿を仕上げ、印刷製本に回す。
26	要旨の発表会	各自の卒業研究の要旨を発表し、質疑応答をおこなう。
27	論文の推敲	12000字以上の論文を仕上げる。
28	パワーポイント資料	10カット程度のワーポイント資料を作成する。
29	口頭発表の練習	読み上げ原稿を作り、高等発表の練習をする。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
30	卒業研究発表会リハーサル	報告7分、質疑応答等8分の学会形式の発表会のリハーサルを行う

科目名	卒業研究		対象 単位数 必修	短期大学部 幼児教育学科 2年 2単位 必修/短期大学部 生活芸術科 2年 4単位 必修/短期大学部 音楽科 2年 2単位 必修/短期大学部 文化学科 2年 4単位 必修/短期大学部 家政科食物栄養専攻 2年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 2年 2単位 選択
担当教員	福島 寅太郎			
開講期	通年			
授業概要	<p>【授業の目標・ねらい】 卒業研究は文化学科2年間を通して学んできた専門的な知識を学問的に探求した成果と位置づけられています。各専門分野にかかわる独創的な研究テーマを選び、そのテーマに関わる専門的な知識を集め、論理的に組み立て、創造的に考察していく作業が求められます。「探求力」「文章力」「表現力」の修得は卒業論文の基本モットーです。</p> <p>【授業の概要】 授業では各自の問題関心に合わせながら、文献の探し方、先行研究の整理、論文の書き方、仕上げ方などについて具体的に指導すると共に、中間発表も計画しています。 なお、卒業研究（字数12000字以上）の提出は2018年1月中旬を予定しており、卒業研究の発表会は2018年2月2日（金）となっています。</p>			
達成目標	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的にものごとを考えることができる能力を修得します。</li> <li>・専門分野の探求において、文化の多様性を理解すると共に、自らの力で問題を発見し、それを創造的に解決する能力を身につけます。</li> <li>・専門的な知識の探求を通して、社会に貢献できる力を身につけます。</li> </ul>			
受講資格	文化学科2年	成績評価方法	授業における内容の発表（30点）、卒業論文の内容は論理的で創造的であること（50点）、卒業研究発表会（20点）	
教科書	使用しない			
参考書	随時、紹介する			
学生への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で積極的に文献を調べたり、紹介された文献を精読するなどをして欲しい。</li> <li>・ゼミに積極的に参加すること。他人の発表に対しても積極的に質問すること。</li> </ul>			
オフィスタイム	火曜日以外の昼休みの時間帯（12：00～）。担当教員の研究室（創学館5階No.5）			
自学自習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習：ゼミ発表のための予習を忘れずにすること（1時間）。</li> <li>・事後学習：ゼミ発表後のまとめをすること（1時間）。</li> </ul>			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	ガイダンスー卒業研究の意味と年間予定について	なぜ卒業研究を書かなければならないか。卒業研究の意味について概説する。年間予定も発表する
2	文献の調べ方	本学図書館の書庫へ行って専門図書を10冊調べてくる。それを通して、文献の調べ方を学ぶ。
3	日本宗教史研究の過去と現在	学生たちが調べてきた研究書を手がかりに、日本宗教研究の過去と現在を概説する。
4	宗教学による「日本宗教論」について①	堀一郎の「日本宗教史」研究について具体的に概説する。
5	宗教学による「日本宗教論」について①	堀一郎の「日本宗教史」研究について具体的に概説する。
6	日本史研究による「日本宗教史」論について①	辻善之助の『日本仏教史』について、その特徴などを紹介する。
7	日本史研究による「日本宗教史」論について①	辻善之助の『日本仏教史』について、その特徴などを紹介する。
8	中間発表①	学生たちによる卒業研究の中間発表。一人40分。質疑応答20分。
9	中間発表②	学生たちによる卒業研究の中間発表。一人40分。質疑応答20分。
10	中間発表③	学生たちによる卒業研究の中間発表。一人40分。質疑応答20分。
11	古事記とその研究について①	日本宗教史の観点から、神話としての古事記を考える。最新の研究動向も紹介する。
12	古事記とその研究について②	日本宗教史の観点から、神話としての古事記を考える。最新の研究動向も紹介する。
13	中世の宗教について①	最澄と空海の仏教思想について考える
14	中世の宗教について②	最澄と空海の仏教思想について考える
15	神仏習合について①	神前読経などを話題に、中世における神仏習合を考える。
16	神仏習合について②	神前読経などを話題に、中世における神仏習合を考える。
17	いわゆる「鎌倉新仏教」について①	『往生要集』や法然の浄土教の特徴を考える
18	いわゆる「鎌倉新仏教」について②	往生伝が誕生した背景について考える。
19	学生による研究成果の発表①	それぞれのテーマに即して研究成果を発表してもらおう。一人は30分。質疑応答は20分。
20	学生による研究成果の発表②	それぞれのテーマに即して研究成果を発表してもらおう。一人は30分。質疑応答は20分。
21	学生による研究成果の発表③	それぞれのテーマに即して研究成果を発表してもらおう。一人は30分。質疑応答は20分。
22	学生による研究成果の発表④	それぞれのテーマに即して研究成果を発表してもらおう。一人は30分。質疑応答は20分。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
23	論文作成の相談および書き方の実践①	それぞれの卒業研究の進行状況を報告し、それに対する質問を受ける。
24	論文作成の相談および書き方の実践②	それぞれの卒業研究の進行状況を報告し、それに対する質問を受ける。
25	進行状況の報告および成果の発表①	一人20分。プリントを作って発表すること。
26	進行状況の報告および成果の発表②	一人20分。プリントを作って発表すること。
27	進行状況の報告および成果の発表③	一人20分。プリントを作って発表すること。
28	卒業研究の要旨の作成について	卒業研究の要旨集に掲載される要旨の作成およびチェック
29	最終発表会 1	最終発表会に向けての準備および卒業研究についての指導教員による最終チェック
30	最終発表会 2	前回と同様の内容。最終発表会に向けての準備および卒業研究についての指導教員による最終チェック

平成30年度

科目名	卒業研究	対象 単位数 必修	短期大学部 幼児教育学科 2年 2単位 必修/短期大学部 生活芸術科 2年 4単位 必修/短期大学部 音楽科 2年 2単位 必修/短期大学部 文化学科 2年 4単位 必修/短期大学部 家政科食物栄養専攻 2年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 2年 2単位 選択
担当教員	桑野 聡		
開講期	通年		
授業概要	卒業研究は文化学科2年間を通して学んできた専門的な知識を学問的に探究した成果と位置づけられています。各専門分野にかかわる独創的な研究テーマを選び、そのテーマに関わる専門的な知識を集め、論理的に組み立て、創造的に考察していく作業が求められます。「探求力」「文章力」「表現力」の修得は卒業論文の基本モットーです。 授業では各自の問題関心に合わせながら、文献の探し方、先行研究の整理、論文の書き方、仕上げ方などについて具体的に指導すると共に、中間発表も計画しています。なお、卒業論文（12000字以上=400字詰め原稿用紙30枚以上）の提出日は2019年1月10日（木）、最終発表会は2月1日（金）です。		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的なものごとを考えることができる能力を修得します。</li> <li>・専門分野の探求において、文化の多様性をりかきすると共に、自らの力で問題を発見し、それを創造的に解決する能力を身につけます。</li> <li>・専門的な知識の探求を通して、社会に貢献できる力を身につけます。</li> </ul>		
受講資格	基礎ゼミ・仮所属を経過した学生である以外には、特になし。	成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業における内容の発表（30点）</li> <li>・卒業論文は、表紙・目次・本文に加えて、註・資料・参考文献が付加されたものであること（50点）</li> <li>・卒業研究発表会（20点）</li> </ul>
教科書	特に使用しません。		
参考書	桑野聡『大学で学ぶための西洋史概説』1・2 DTP出版 2006年 その他、適宜提示する。 文化学科「卒業研究の手引き」平成28年度		
学生への要望	各自の就職・資格・アルバイト活動などを考慮してスケジュール管理を確実に、計画的に取り組むこと。		
オフィスタイム	火曜のⅡ時限目（10:30～12:00） 考古学研究室		
自学自習	事前学習： 発表準備（1時間以上） 事後学習： 論文修正（1時間以上）		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	ガイダンス 4月12日	授業の進め方を解説し、年間計画を立てる。また文献の利用などに際しての基本的な研究倫理を指導する。
2	ウォーミングアップ① 4月19日	参加学生の研究テーマについて、現在知っていることを要約して発表してもらう。
3	ウォーミングアップ② 4月26日	前回の発表を受けて提示した課題について発表と質疑応答を行う。
4	ウォーミングアップ③ 5月10日	前回の質疑応答を受けて、各自の研究テーマの検討を進め、第1回発表の内容を準備する。
5	ウォーミングアップ④ 5月17日	前回の質疑応答を受けて、各自の研究テーマの検討を進め、第1回発表の内容を準備する。
6	研究発表①-A 5月24日	学生Aの第1回発表と質疑応答
7	研究発表①-B 5月31日	学生Bの第1回発表と質疑応答
8	研究発表①-C 6月7日	学生Cの第1回発表と質疑応答
9	研究発表①-D 6月14日	学生Dの第1回発表と質疑応答
10	研究発表②-A 6月21日	学生Aの第2回発表と質疑応答
11	研究発表②-B 6月28日	学生Bの第2回発表と質疑応答
12	研究発表②-C 7月5日	学生Cの第2回発表と質疑応答
13	研究発表②-D 7月12日	学生Dの第2回発表と質疑応答
14	ブラッシュアップ① 7月19日	前期の各報告を総括し、各自の論文構成を考え、夏休みの作業の準備とする。
15	ブラッシュアップ② 7月25日（水）	前回の授業を受けて、各自の論文構成に関する相談を受ける
16	後期ガイダンス 9月13日	夏休みの課題を提出する。
17	ブラッシュアップ③ 9月20日	夏休みの作業を振り返り、各自の課題を考える。
18	ブラッシュアップ④ 9月27日	夏休みの課題について返却し、修正点を確認する。
19	研究発表③-A 10月11日	学生Aの第3回発表と質疑応答
20	研究発表③-B 10月18日	学生Bの第3回発表と質疑応答

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
21	研究発表③-C 10月25日	学生Cの第3回発表と質疑応答
22	研究発表③-D 11月1日	学生Dの第3回発表と質疑応答
23	研究発表④-A 11月8日	学生Aの第4回発表と質疑応答
24	研究発表④-B 11月15日	学生Bの第4回発表と質疑応答
25	研究発表④-C 11月29日	学生Cの第4回発表と質疑応答
26	研究発表④-D 12月6日	学生Dの第4回発表と質疑応答、『卒業研究の要旨』原稿案の提出
27	最終作業① 12月13日	『卒業研究の要旨』原稿添削と提出
28	最終作業② 12月20日	『卒業研究の要旨』校正、卒業論文提出上の注意事項確認（様式・註の付け方・参考文献の書き方など）
29	最終作業③ 1月10日	卒業論文提出（11:30~12:30）の結果報告を受けて、卒研発表会の準備に入る
30	最終作業④ 1月17日	2月1日の卒研発表会の準備（レジュメ・パワーポイントなど）

科目名	卒業研究		対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科 2年 2単位 必修/短期大学部 生活芸術科 2年 4単位 必修/短期大学部 音楽科 2年 2単位 必修/短期大学部 文化学科 2年 4単位 必修/短期大学部 家政科食物栄養専攻 2年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 2年 2単位 選択
担当教員	会田 容弘			
開講期	通年			
授業概要	<p>【授業の目標・ねらい】 卒業研究は文化学科2年間を通して学んできた専門的な知識を学問的に探求した成果と位置づけられています。各専門分野にかかわる独創的な研究テーマを選び、そのテーマに関わる専門的な知識を集め、論理的に組み立て、創造的に考察していく作業が求められます。「探求力」「文章力」「表現力」の修得は卒業論文の基本モットーです。</p> <p>【授業の概要】 授業では各自の問題関心に合わせながら、文献の探し方、先行研究の整理、論文の書き方、仕上げ方などについて具体的に指導すると共に、中間発表も計画しています。なお、卒業論文（A4版12000字以上）の提出日は2018年1月11日（木）、最終発表会は2月2日（金）です。</p>			
達成目標	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的にものごとを考えることができる能力を修得します。</li> <li>・専門分野の探求において、文化の多様性を理解すると共に、自らの力で問題を発見し、それを創造的に解決する能力を身につけます。</li> <li>・専門的な知識の探求を通して、社会に貢献できる力を身につけます。</li> </ul>			
受講資格	文化学科2年生	成績評価方法	<p>【成績評価法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業における内容の発表（30点）</li> <li>・卒業論文の内容は論理的で創造的であること（50点）</li> <li>・卒業研究発表会（20点）</li> </ul>	
教科書	会田 著述「短大生のための考古学論文作法」（私家版）			
参考書	文化学科（資格課程）報告集第4～20集			
学生への要望	1年間かけてじっくりと自分の研究テーマを完成させてほしい。それにはたゆまず考古学の勉強をすることが必要である。授業は課題研究と発表および実習である。課題を調べることが予習である。発表および実習の指摘点を修正するのが復習である。一日30分を考古学の時間にあててほしい。			
オフィスタイム	水曜日2・4時限目。論文作成に関する質問の場合は事前にメールで連絡を取り、質問内容を示してから面会すること。特に必要な文献などがある場合は必ず事前連絡すること。			
自学自習	授業時間に指導した資料の観察、資料化、拓本、実測、トレース、写真撮影などは授業時間だけでは終わらないので、空き時間を使って、必ず完成させておくこと。その成果を用いて次の授業では次のステップに進む。また、わからないことがあれば、必ず、教員に確認すること。			

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	ガイダンス	研究倫理の説明を行う。考古資料を研究に利用する場合の手続き、調査者に対する。卒業論文作成の過程を説明する。
2	論文作成の動機付け（1）	対話を行いながら、興味ある対象が考古学研究の対象であるかないか、どのようにすれば考古学研究となるかを明らかにする。
3	論文作成の動機付け（2）	実際の考古資料（笹山原遺跡No.16出土資料）を観察する。
4	論文作成の動機付け（3）	会田の最新論文（「檜ノ木平遺跡の石刃製作技術変異」新潟県津南町教育員会信濃川火焰街道連携協議会『津南シンポジウムXII予稿集 津南段丘の杉久保石器群』pp.129-137(2016.10.)）の読み合わせを行い、考古学論文の構成・資料・提示方法などを説明する。
5	論文資料の決定	論文で扱う資料を決定する。実物考古資料、文献考古資料、現地遺跡などにより論文作成方法は異なる。
6	資料操作方法（1）	取り扱う資料（遺物（石器・土器・骨角器・自然遺物・木製品・金属器）遺構（住居・土坑・古墳））によりその折扱い方が異なる。基本的な資料の取り扱い方法を説明し、論文作成に備える。
7	資料操作方法（2）	資料操作の実習。土器であれば個体分類、接合作業。石器であれば石材分類、接合作業。
8	資料化作業（1）	論文資料とするまでの資料化作業。資料の記録・注記作業。
9	資料化作業（2）	論文資料とするまでの資料化作業。資料の記録・注記作業。
10	資料化作業（3）	論文資料とするまでの資料化作業。資料の記録・注記作業。
11	資料化作業（4）	論文資料とするまでの資料化作業。資料の記録・注記作業。
12	資料化作業（5）	論文資料とするまでの資料化作業。資料の記録・注記作業。
13	資料化作業（6）	論文資料とするまでの資料化作業。資料の記録・注記作業。
14	資料化作業（7）	論文資料とするまでの資料化作業。資料の記録・注記作業。
15	中間発表	操作した資料がどのような状況にあるか、報告する。さらにその資料から何が言えそうか対話により検討する。
16	図化作業（1）	拓本・実測・トレース・写真撮影により資料を図化する。
17	図化作業（2）	拓本・実測・トレース・写真撮影により資料を図化する。
18	図化作業（3）	拓本・実測・トレース・写真撮影により資料を図化する。
19	図化作業（4）	拓本・実測・トレース・写真撮影により資料を図化する。
20	図化作業（5）	拓本・実測・トレース・写真撮影により資料を図化する。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
21	図版レイアウト	図化した図版をレイアウトし、図版を作る。
22	論文作成（1）	事実記載。
23	論文作成（2）	事実記載。
24	論文作成（3）	事実記載。
25	論文作成（4）	事実記載。
26	論文作成（5）	事実記載。
27	研究史上の位置付け	記述した資料がどのような位置にあるものか、指導教員が関連文献を提示し、記述する。
28	考察の執筆（1）	資料化した資料が過去の人間行動のどの部分が投影されているか考察する。
29	考察の執筆（2）	資料化した資料が過去の人間行動のどの部分が投影されているか考察する。
30	発表データ作成および予行	卒業論文発表会に向けてパワーポイントを作成し、実際にそれを持ちいて発表の練習を行う。



<b>科目名</b>	卒業研究	<b>対象 単位数 必選</b>	短期大学部 幼児教育学科 2年 2単位 必修/短期大学部 生活芸術科 2年 4単位 必修/短期大学部 音楽科 2年 2単位 必修/短期大学部 文化学科 2年 4単位 必修/短期大学部 家政科食物栄養専攻 2年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 2年 2単位 選択
<b>担当教員</b>	佐藤 愛未		
<b>開講期</b>	通年		
<b>授業概要</b>	卒業研究は文化学科 2年間を通して学んできた専門的な知識を学問的に探求した成果と位置づけられています。各専門分野にかかわる独創的な研究テーマを選び、そのテーマに関わる専門的な知識を集め、論理的に組み立て、創造的に考察していく作業が求められます。「探求力」「文章力」「表現力」の修得は卒業論文の基本モットーです。授業では各自の問題関心に合わせながら、文献の探し方、先行研究の整理、論文の書き方、仕上げ方などについて具体的に指導すると共に、中間発表も計画しています。なお、卒業論文（12000字以上）の提出日は2017年1月10日（木）、最終発表会は2月1日（金）です。		
<b>達成目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的にものごとを考えることができる能力を修得します。</li> <li>・専門分野の探求において、文化の多様性を理解すると共に、自らの力で問題を発見し、それを創造的に解決する能力を身につけます。</li> <li>・専門的な知識の探求を通して、社会に貢献できる力を身につけます。</li> </ul>		
<b>受講資格</b>	文化学科2年生	<b>成績評価 方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業における内容の発表（30点）</li> <li>・卒業論文の内容は論理的で創造的であること（50点）</li> <li>・卒業研究発表会（20点）</li> </ul>
<b>教科書</b>	なし		
<b>参考書</b>	研究テーマ・課題に即した文献を個別に指示する。		
<b>学生への要望</b>	各人の研究テーマ・課題を自覚し、自主的に探究すること。		
<b>オフィスタイム</b>	火曜日Ⅲ時間目、水曜日Ⅱ時間目。創学館4階、No.4研究室		
<b>自学自習</b>	事前学修：自身の研究課題について各自文献を読み知識を深め、関係史料などの調査を行う。（1時間） 事後学修：授業を通して出てきた疑問点などについて確認・復習を行う（1時間）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	研究論文の書き方（1）	論文の構成要素、論理の展開などを概説する。
2	研究論文の書き方（2）	論文の構成要素、論理の展開などを概説する。
3	研究テーマの決め方（1）	研究の目的は何か、何を調べるのかなど、各人の問題関心を検証し、確認する
4	研究テーマの決め方（2）	研究の目的は何か、何を調べるのかなど、各人の問題関心を検証し、確認する
5	研究テーマの決め方（3）	研究の目的は何か、何を調べるのかなど、各人の問題関心を検証し、確認する
6	研究論文題目の決め方（1）	研究の基盤となる研究テーマ、研究主題を概説する。各人の問題関心に即して仮の研究論文題目を絞り込む。
7	研究論文題目の決め方（2）	研究の基盤となる研究テーマ、研究主題を概説する。各人の問題関心に即して仮の研究論文題目を絞り込む。
8	仮題目の発表（1）	講読した専門書、先行研究、各人の問題関心、絞り込んだ研究論文題目を発表する。
9	仮題目の発表（2）	講読した専門書、先行研究、各人の問題関心、絞り込んだ研究論文題目を発表する。
10	調査研究の方法（1）	論文執筆の前段階となる資料・参考文献の収集、現地調査、聞き取り調査、フェールドワークなどを概説し、質疑応答する。図書館の活用法についても論議する。
11	調査研究の方法（2）	論文執筆の前段階となる資料・参考文献の収集、現地調査、聞き取り調査、フェールドワークなどを概説し、質疑応答する。図書館の活用法についても論議する。
12	研究計画の作成（1）	これまでの授業内容を踏まえて、1月上旬の論文提出を念頭に研究計画表を作成する。スケジュール管理の重要性を認識する。
13	研究計画の作成（2）	これまでの授業内容を踏まえて、1月上旬の論文提出を念頭に研究計画表を作成する。スケジュール管理の重要性を認識する。
14	研究構想発表会（1）	論文提出に向けて研究構想を持ち廻り形式で発表する。発表者と聴講者の間で、発表内容について質疑応答をする。発表内容は研究史、研究状況、研究目的、研究上の疑問点、資料・文献の収集経過などである。
15	研究構想発表会（2）	論文提出に向けて研究構想を持ち廻り形式で発表する。発表者と聴講者の間で、発表内容について質疑応答をする。発表内容は研究史、研究状況、研究目的、研究上の疑問点、資料・文献の収集経過などである。
16	卒業論文の題目確定	研究構想発表での質疑応答を踏まえ、研究課題・構想の妥当性、研究課題解明の方策などを検討し、研究論文の題目を確定する。
17	卒業論文の章立て（1）	資料・参考文献の収集経過、論文題目などから総合的に研究論文の目次構成を確定する。
18	卒業論文の章立て（2）	資料・参考文献の収集経過、論文題目などから総合的に研究論文の目次構成を確定する。
19	卒業論文の提出計画	研究上の問題点を解決し、論文執筆と論文提出に向けて、具体的な論文提出工程計画表を作成する。
20	卒業論文の執筆（1）	研究論文を執筆し、適宜論文内容について指導と助言をうける。
21	卒業論文の執筆（2）	研究論文を執筆し、適宜論文内容について指導と助言をうける。
22	卒業論文の執筆（3）	研究論文を執筆し、適宜論文内容について指導と助言をうける。
23	卒業論文の執筆（4）	研究論文を執筆し、適宜論文内容について指導と助言をうける。
24	卒業論文の執筆（5）	研究論文を執筆し、適宜論文内容について指導と助言をうける。
25	卒業論文の執筆（6）	研究論文を執筆し、適宜論文内容について指導と助言をうける。
26	卒業論文の加筆（1）	研究論文の過不足を点検、補正し、研究論文の提出に備える。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
27	卒業論文の加筆（2）	研究論文の過不足を点検、補正し、研究論文の提出に備える。
28	卒業論文の点検	直前の研究論文提出に備え、研究論文を最終的に点検する。
29	卒業論文発表会（1）	日本史所属の学生による発表会の予行演習
30	卒業論文発表会（2）	日本史所属の学生による発表会の予行演習

科目名	卒業研究	対象 単位数 必選	短期大学部 幼児教育学科 2年 2単位 必修/短期大学部 生活芸術科 2年 4単位 必修/短期大学部 音楽科 2年 2単位 必修/短期大学部 文化学科 2年 4単位 必修/短期大学部 家政科食物栄養専攻 2年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 2年 2単位 選択
担当教員	野沢 謙治		
開講期	通年		
授業概要	卒業研究は文化学科 2年間を通して学んできた専門的知識を学問的に探究した成果と位置づけられている。各専門分野にかかわる独創的な研究テーマを選び、そのテーマに関わる専門的な知識を集め、論理的に組み立て、創造的に考察していく作業が求められる。「探求力」「文章力」「表現力」の修得は卒業研究の基本である。また各自の問題関心に合わせながら文献の探し方、先行研究の整理、論文の書き方などについて具体的に指導するとともに中間発表も計画している。なお卒業論文の提出日は2017年1月12日（木）、発表会は2月2日（木）である。		
達成目標	達成目標は論理的にものごとを考える能力の修得、文化の多様性を理解し自らの力で問題を発見し創造的に解決する能力の修得、専門的知識の探求を通して社会に貢献できる力の修得である。		
受講資格	文化学科 2年	成績評価 方法	授業における発表30点、卒業研究（論文）が論理的、創造的であること50点、卒業研究発表会20点で合計100点で評価。
教科書	なし。		
参考書	卒業研究に必要な参考文献は授業の中で指示するので必ず読んで下さい。		
学生への要望	卒業研究では各自が選んだテーマについて毎回、調べたことを発表してもらうことになります。調べたことが積み重なり、それが卒業研究の成果となります。事前学修として2時間、事後学修として1時間をとって下さい。		
オフィスタイム	金曜日のⅢ、Ⅳコマ目研究室（創学官4階No.5）で行います。		
自学自習	指導教員が指定した参考文献はあらかじめ必ず読んで内容をまとめておくこと。授業で学んだことは整理し質問項目を作り、翌週の授業で質問の時間をとるので質問をし解決しておくこと。		

## -授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
1	オリエンテーション	1年間、卒業研究をどのように進めていくかを話し合います。また現時点での卒業研究のテーマについて何故、興味、関心をもったかについて発表してもらいます。また図書館において民俗学関連の専門書、学術雑誌について説明します。
2	専門書を読む1	卒業研究に関連し学生が興味をもった専門書を読み、その内容について発表してもらいます。その発表について教員が的確な助言を行います。
3	専門書を読む2	卒業研究に関連し学生が興味をもった専門書を読み、その内容について発表してもらいます。その発表について教員が的確な助言を行います。
4	専門書を読む3	卒業研究に関連し学生が興味をもった専門書を読み、その内容について発表してもらいます。その発表について教員が的確な助言を行います。
5	専門書を読む4	卒業研究に関連し学生が興味をもった専門書を読み、その内容について発表してもらいます。その発表について教員が的確な助言を行います。
6	専門書を読む5	卒業研究に関連し学生が興味をもった専門書を読み、その内容について発表してもらいます。その発表について教員が的確な助言を行います。
7	専門書を読む6	卒業研究に関連し学生が興味をもった専門書を読み、その内容について発表してもらいます。その発表について教員が的確な助言を行います。
8	専門書を読む7	卒業研究に関連し学生が興味をもった専門書を読み、その内容について発表してもらいます。その発表について教員が的確な助言を行います。
9	専門書を読む8	卒業研究に関連し学生が興味をもった専門書を読み、その内容について発表してもらいます。その発表について教員が的確な助言を行います。
10	学会誌などの論文を読む1	「日本民俗学」などの学会誌のバックナンバーから卒業研究のテーマにかかわる論文を集め読み、その内容について発表してもらいます。それに対して教員が的確な助言を行います。
11	学会誌などの論文を読む2	「日本民俗学」などの学会誌のバックナンバーから卒業研究のテーマにかかわる論文を集め読み、その内容について発表してもらいます。それに対して教員が的確な助言を行います。
12	学会誌などの論文を読む3	「日本民俗学」などの学会誌のバックナンバーから卒業研究のテーマにかかわる論文を集め読み、その内容について発表してもらいます。それに対して教員が的確な助言を行います。
13	学会誌などの論文を読む4	「日本民俗学」などの学会誌のバックナンバーから卒業研究のテーマにかかわる論文を集め読み、その内容について発表してもらいます。それに対して教員が的確な助言をおこないます。
14	学会誌などの論文を読む5	「日本民俗学」などの学会誌のバックナンバーから卒業研究のテーマにかかわる論文を集め読み、その内容について発表してもらいます。それに対して教員が的確な助言を行います。
15	中間発表会	卒業研究のテーマについて前期の学修成果を発表してもらいます。そしてテーマを最終的に決定します。また夏休みの課題について教員より指示します。また民俗調査を実施する場合、調査内容について相談します。
16	夏休みの成果発表	夏休み中の課題が、どの程度、達成されたかについて発表してもらいます。
17	卒業研究・論文の作成に向けて1	卒業研究・論文の作成に向けて具体的な論文構成を指導を行います。
18	卒業研究・論文の作成に向けて2	卒業研究・論文の作成に向けて具体的な論文作成の指導を行います。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
19	卒業研究・論文の作成に向けて3	卒業研究・論文の作成に向けて具体的な論文作成の指導を行います。
20	卒業研究・論文の作成に向けて4	卒業研究・論文の作成に向けて具体的な論文作成の指導を行います。
21	卒業研究・論文の作成に向けて5	卒業研究・論文の作成に向けて具体的な論文作成の指導を行います。
22	卒業研究・論文の作成に向けて6	卒業研究・論文の作成に向けて具体的な論文作成の指導を行います。
23	卒業研究・論文の作成に向けて7	卒業研究・論文の作成に向けて具体的な論文作成の指導を行います。
24	卒業研究・論文の作成に向けて8	卒業研究・論文の作成に向けて具体的な論文作成の指導を行います。
25	卒業研究・論文の作成に向けて9	卒業研究・論文の作成に向けて具体的な論文作成の指導を行います。
26	卒業研究・論文の作成に向けて10	卒業研究・論文の作成に向けて具体的な論文作成の指導を行います。
27	卒業研究・論文の作成に向けて11	卒業研究・論文の作成に向けて具体的な6文作成の指導を行います。
28	最終発表会1	卒業研究・論文の最終内容について発表してもらいます。その内容について教員が論文の書き方をふくめて指導を行い、論文を最終的にまとめます。
29	最終発表会2	卒業研究・論文の最終内容について発表してもらいます。その内容について教員が論文の書き方をふくめて指導を行い、論文を最終的にまとめます。
30	最終発表会3	前回に同じ。卒業研究発表会の発表の仕方（パワーポイントの作成など）について指導する。